

長崎大学環境交流セミナー「対馬の環境を考える～問題の共有と解決に向けて～」
(令和5年2月19日(日)13時～16時40分)

環境科学部が対馬をフィールドとして行ってきた研究活動などについて、対馬の皆様を知っていただき、交流を深めるための初の試みとして実施しました。

当日は41名の御参加があり、岡田環境科学部長、環境省対馬自然保護官事務所の松岡首席自然保護官、環境科学部教員6名の講演があったほか、環境科学部の学生、対馬高校生もポスター発表を行い、参加者と交流を深めました。



講演ステージの様子



講演会場の様子



ポスター発表の様子



岡田学部長による開会・趣旨説明



松岡自然保護官による基調講演



大田教員のポスター発表
「対馬のローカル・サステナビリティに関する
国際共同フィールドワークの報告」



利部教員の講演
「対馬の地下水・温泉水の特性について」



黒田教員の講演
「縮小する流域社会環境の再構築の可能性」



久保教員のポスター発表
「対馬の河川水および水道水の遺伝子毒性調査」



服部教員のポスター発表
「対馬の生物を対象とした研究経過報告と今後の計画」



関教員の講演
「教育実践の紹介-「環境フィールドスクール」